

—6月29日付で社長に就任。まず抱負から。

「当社は創業から70年以上、独自の技術を培ってきたポテンシャルのある会社。高機能・独自製品の上り弾力性確保・拡販を図り、今年を最終年度とする中計『NSR23』の経営目標である連結ROS10%以上を達成する」

「ステンレス鋼線のトップメーカーとして、サステナブル社会に貢献する新製品開発や新市場開拓などを着実に進めていく。環境・エネルギー課題など、世の中の大きな変化に対応していきたい」

—具体的には。

「太陽光発電パネルの印刷に用いる極細線の細径化を進めている。現在は11ミクロンが主流だが、当社は同用途において日本で唯一9ミクロンの極細線の製造に成功している。早期に9ミクロンの安定生産を実現し、市場に投入することで、太陽光発電の発電効率向上を図り、サステナブル社会の発展に寄与した

## 新社長インタビュー

### 日本精線 利光 一浩氏



に捕捉していく」

「社内でもサステナビリティ経営を推進している。また、投資家や入社を考へる学生へのメッセージとしての意味合いも持つと考えている」

「2030年までにCO<sub>2</sub>を30%削減(2013年度比)するため、熱処理

### 高機能・独自製品拡販で収益性向上

### サステナビリティ経営推進

### 環境・エネルギー課題などに対応

い

「半導体製造工程で使用

る超精密ガスフィルター

の拡販にも注力する。DX

「また風力発電の大型プラントの更新や工場排熱を再利用する仕組み作りなどを行っている。また、東大阪工場の酸洗設備の合理化や、

や5Gなどデジタル社会へ

の炭素繊維の製造には、

当耐震補強ほかBCP対策など、中計期間の連結設備投資額約57億円のうち、39億

円をESG関連に割いている。昨年度からの需要の落ち込みが、足元でも続いている。建築向けや自動車向けなどの低迷を受け、直近

の重要な役割を果たす。ユ

や中国を中心に設置が進んでおり、今後さらに拡大が見込まれる需要を、積極的

に「当社の高機能・独自製

品自体が世の中でのサステナビリティに貢献することはもちろん、社内でのサステナビリティを推進することで、職場環境改善による従業員の働きやすさ向上につながる。また、投資家や入社を考へる学生へのメッセージとしての意味合いも持つと考えている」

「2030年までにCO<sub>2</sub>を30%削減(2013年度比)するため、熱処理

「国内・海外ともに高

機能・独自製品の引き合いは堅調だが、汎用品のステンレス鋼線の状況は。

「タイ精線は世界経済の景気減速の影響を受け、ステンレス鋼線の販売が低迷している。中国の耐素龍精密濾機(常州)では、アップル向け化合物繊維製造用の需要が落ち込んでおり、ク

「当社の高機能・独自製

品自体が世の中でのサステナビリティに貢献することはもちろん、社内でのサステナビリティを推進することで、職場環境改善による従業員の働きやすさ向上につながる。また、投資家や入社を考へる学生へのメッセージとしての意味合いも持つと考えている」

「国内・海外ともに高

機能・独自製品の引き合いは堅調だが、汎用品のステンレス鋼線の状況は。

「タイ精線は世界経済の景気減速の影響を受け、ステンレス鋼線の販売が低迷している。中国の耐素龍精密濾機(常州)では、アップル向け化合物繊維製造用の需要が落ち込んでおり、ク

「国内・海外ともに高

機能・独自製品の引き合いは堅調だが、汎用品のステンレス鋼線の状況は。

「タイ精線は世界経済の景気減速の影響を受け、ステンレス鋼線の販売が低迷している。中国の耐素龍精密濾機(常州)では、アップル向け化合物繊維製造用の需要が落ち込んでおり、ク

※本記事は鉄鋼新聞社の承諾を得て掲載しており、著作権は鉄鋼新聞社に帰属します。

### プロフィール

利光 一浩氏(としみつ・かずひろ)85年(昭60)南山大学法卒、大同特殊鋼入社。2009年ステンレス・工具鋼事業部ステンレス鋼営業部長、15年自動車ビジネスユニット名古屋営業部長、19年執行役員総務部長、20年取締役常務執行役員、22年代表取締役副社長執行役員。23年6月現職。62年(昭37)8月生まれ、愛知県出身。

仕事で大切にしていることは「謙虚な姿勢」。趣味はスポーツ観戦と温泉巡りで、大阪赴任は2度目。「週末は妻と関西の街を散策したい」と笑顔。

同期と比較して2割減で推移している」

「海外関連会社の状況は。——長期的な展望は。」

「当社の売上比率は64%が高機能・独自製品。残りの36%が汎用品のステンレス鋼線だ。高機能・独自製品のさらなる拡販を図り、収益性を向上させる。また、当社のユーザーは多業界にまたがっており、幅広い技術革新の一部を担っている。高機能・独自製品およびさまざまなステンレス鋼線のどちらもの安定生産・安定供給に努めることが使命だと考えている」

(山浦 なつき)

